



**バナナ園  
グループ**

2019年3月号

Monthly

March

# BANANANEWS

WEST

ホームページにも情報満載！

バナナ園



(株)アイ・ディ・エス  
バナナ園  
グループ



044-455-6119

川崎市麻生区の田園調布学園大学

## 「第14回子供がつくる町ミニたまゆり」に参加しました

おとしより体験 de ゲームに挑戦～出役！へび&カエル！救え！シニアの戦士たち～

みなさん川崎市麻生区の田園調布学園大学で毎年行われるイベント「子どもがつくる町ミニたまゆり」をご存知ですか？地域の子供達と共に学園内に仮想の町をつくり、そこで子ども達が働いたり、お金を稼いだり、そのお金で税金を払ったり遊んだりする体験・参加型のイベントです。今年で14回目を迎える地域の子供達が主役のこのイベント、本年は2月10日11日の両日に開催されましたのでご存知の方も多いと思います。年々規模が膨らむと同時に市内の様々な団体・法人の協力や川崎市教育委員会との連携事業に進化し、3000人以上の来場者を集める大イベントに成長しています。この「BANANA NEWS 1月号」でもお知らせしたとおりバナナ園グループも今年からこのイベントに参加をさせて頂くことになりました。昨年末、実行委員の学生さんたちとの打ち合わせから「とにかく来場者に楽しみながら学んでもらえる斬新な企画を！」と宿題を頂きました。考えに考えた末、普段ゲームセンターなどで目にすることもある「太鼓の達人」「ワニワニパニック」「ハンマーフォック」等のゲームマシンを多数導入し、ご利用者＜高齢者＞が楽しめる環境づくりと「リハビリテーション」に活用している横浜のデイサービスセンター「かいかや」様にご協力をお願いし、この中から「どきどきへび退治Ⅱ」＜座って、出てきたへびを足で踏んで下肢筋と脳のトレーニング＞「ハンマーフォック」＜LEDの光を合図にリズムよくカエルが出現、モグラ叩きの要領で出てきたカエルを叩きます＞の二つのゲームマシンを会場に持ち込むことになりました。実際に「かいかや」ではこのゲームマシンを楽しみながらリハビリに利用し歩行の改善や転倒予防に繋げており、90歳を超えて「どきどきへび退治Ⅱ」では84歳の方が252点、「ハンマーフォック」では90歳の方が173点の最高得点を叩きだしているといえます。今回は子供たちにハンディキャップとして高齢者疑似体験グッズ「つくし君」を装着してゲームにチャレンジしてもらう『おとしより体験 de ゲームに挑戦』～出役！へび&カエル！救え！シニアの戦士たち～として参加させて頂くことになりました。参加の子どもたちには「つくし君」を装着、手首＜足首＞にウエイト、肘＜膝＞にはサポーター、重りを入れたリュックをお腹側に担いだ上、更にモグラが見える窓を付け、80歳のお年寄りになりきりゲームをします。2月11日のイベント当日は事前予約で申し込みのあった小学校1年生～6年生30人を10人ずつ3回に分けて『おとしより体験 de ゲームに挑戦』を実施しました。本番前に「つくし君」を装着せずにゲームにトライした児童は自信ありげな表情でしたが、「つくし君」を装着すると「歩くのも腕を上げるのも大変だ！」「この窓をかけるとよく見えないよ！ムリ。」の声。いよいよゲームがスタートすると「ガンバレ～」「もつとはやくう」「へびはこっちゃだよ」と歓声が響きます。大きな盛り上がりの中全員がゲームを終えると最高得点は「どきどきへび退治Ⅱ」ではくせなちゃん＜177点＞、「ハンマーフォック」ではくにこちゃん＜152点＞を記録、残念ながら「ハンマーフォック」ではデイサービスセンターのご利用者にはかなわなかったものの大健闘！しかし、子供たちは一様に「超つかれたよ!! おじいちゃんおばあちゃんたちは不便だね、ゆっくり歩いたり、杖を使ったりするのがわかったよ。」「目が不自由だとゲームもたいへんだけど駅でキップを買ったり、信号を見るのもたいへんだね。」と納得の様子。特別ゲストでゲームに参加した父兄で介護職をされているM様からは「しっかりリハビリをすれば良くなるのに、辛らいので長続きせず機能回復を諦める高齢者は多いものですが、スコアが出てくるゲームだと楽しみながらリハビリが出来ますね。良い発見になりました。」と話されていました。最後に修了証書とたくさんのお土産をプレゼント、子供たちには楽しい思い出・体験になったと思います。「ミニたまゆり」初参加でしたが上バナナ園グループの担当者は「来年はもっと沢山の子供たちに参加してもらえるように工夫し、イベントを盛り上げたい」と話していました。



高齢者疑似体験「つくし君」を装着して「ハンマーフォック」(左)＜「どきどきへび退治Ⅱ」(右)＞に挑戦するキッズたち。ウエイトにサポーター、眼鏡をかけて80歳の高齢者になりきりました。やはり思ったようにはいきません。

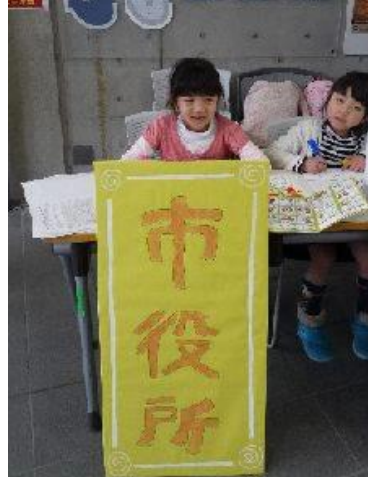


↑田園調布学園大学(DCU)は、人間福祉学部と子ども未来学部の2学部から成る福祉の専科大学。社会福祉学科、心理福祉学科、子ども未来学科の3学科を設置。右は「つくし君」装着のイラスト。

2005年に酒井教授のゼミナール活動の一環でその年の学園祭より、ドイツのミュンヘン市で開催されていた「ミニ・ミュンヘン」の活動に触発され、開始。学生が利用する新百合ヶ丘駅とたまプラーザ駅の「ゆり」と「たま」に「ミニ・ミュンヘン」の「ミニ」を付けて「ミニたまゆり」になったという



第14回  
子どもがつくる町ミニたまゆり2019



↑ミニたまゆりの市役所。何でも相談に乗ってくれる。「ユリ」のお札⇒仕事をしたお給料はミニたまゆりで使える「ユリ」で貰える。税金を払い残った「ユリ」で食べたり、遊んだり、今から貯金も出来る仕組みも導入。



ミニたまゆりの街をパトロール、警察官は「人助けの仕事」に分類されます(上)。私たちのブースにTVカメラを持って取材が入りました！ディレクターもカメラマンも子供達には人気の職業(左上)勿論映像は校内で封印されます。食堂も子どもたちによって運営、ラーメンを食べるにはユリで支払います(左下)。

川崎市宮前区のグループホーム「バナナ園生田の杜」より  
**除災招福 早くお入り福の神**

川崎市宮前区のグループホーム『バナナ園生田の杜』では、2月3日に節分イベントを開催しました。最高気温 13.7 度と、2 月にしては暖かな陽気に包まれたこの日。日曜日のまったりとした雰囲気の中、まずは午前中に、赤鬼が各フロアへ順番にお邪魔しました。節分はその字の如く“季節を分ける”ことを意味します。古くから、季節の変わり目には邪気が生じるといわれており、鬼に豆をまくのは、その災いを払うためとされています。この風習に関しては室町時代から記録が残されており、そもその由来は”魔滅＝まめ”という語呂合わせに基づきます。まさに今の時期は何かと体調を崩しやすいため、ここでの豆まきは健康の願掛けと捉えても良いでしょう。皆様は、お手元にある炒り豆を握り締め、「鬼は外、福は内！」と鬼に力いっぱい投げつけます。童心に返ったように楽しそうな、その表情が印象的でした。鬼をやっつけた後は、全員で童謡『まめまき』の合唱。歌詞の通り、鬼はこっそり逃げていきます。そうして、残りの豆は 10 時のお茶と一緒に召し上がって頂きました。この日は一人一人の体調や覚醒状態が万全で、全員が豆まきに参加し、揃って記念撮影できたことが良い思い出となりました。続いて 12 時のお昼ご飯には、海鮮の恵方巻きをご用意。ちょっと豪華に豚汁付きです。節分に恵方巻きを食べる習慣が本格的に広まったのは 2000 年代以降であるため、ご入居者様にはあまり馴染みがありません。ですが、職員が事細かに手順を説明すると、こうした近年の流行にも興味を持たれた様子。顎に自信のある方は、今年の恵方である東北東に向かってガブリ！恵方には、その年の福を司る神様がいますとされています。豪快なひとかじりに、神様も微笑まれたことでしょうか。時代が流れても、我々が年中行事を重んじ、自身と周りの無病を願う気持ちは常に変わりありません。来年も、張り切って豆をまきましょう！



そもその起源は定かではないが、「巻き寿司」を 1989 年広島のコピニエンストが「恵方巻」という名称で販促展開を始め、関西を経由し 1998 年頃からコピニエンを中心に全国展開をしたことで急速に普及したとされている。

川崎市宮前区のグループホーム「バナナ園生田の泉」より  
**平成最後の初詣！琴平神社参り**

川崎市宮前区のグループホーム「バナナ園生田の泉」では 1 月 15 日に入居者の皆さん全員とスタッフで麻生区の「武州柿生琴平神社」へ午前、午後の二部に分け、初詣をおこないました。入居者の皆さんは久々のお参りとあって朝からソワソワ・ワクワク。介護タクシーに乗り朝 10 時 30 分に施設を出発、神社までわずか 20 分のドライブですが、皆さんこれもしっかり楽しまれた様子。大きな鳥居をくぐり手水で清めてから鈴を鳴らして拝礼。お賽銭を投げ願掛けのあとはおみくじです。皆さん全て吉以上！特に大吉を引き当てた入居者様はこの日一日終始にこやかなご様子、そして境内で甘酒を全員でいただき身も心も融融。施設に戻りスタッフはとんぼ返りで午後の部の引率です。第二陣はお参りを済ませたところ境内で大道芸の「猿回し」に遭遇!! 博学なご利用者 A 様が「『猿は去る』に通じるから『魔を去る(払う)』と信じられ、縁起のよい芸と言われるんだよ」と講釈、皆で「猿回し」を楽しみました。地域の皆様には有名なこの「琴平神社」はバリアフリーで、身体にハンデ・イヤップのある方にも優しい神社。お陰様でご入居者の皆さんそして引率するスタッフも楽しく安全にお参りができました。管理者の小林は「施設内での定期的なイベントは頻りに実施していますが、安全面やスタッフの確保等の諸事情を考えると、大人数での外出には慎重にならざるを得ませんでした。スタッフの発案で二部制初詣を実施しましたが、安全に一日を終えることが出来て一安心。入居者同士、そしてスタッフとの絆が再確認出来ました。スタッフも自信をつけたと思います。新春早々大収穫の一日になりました。」と語ってくれました。



麻生区柿生の琴平神社は地元の人にも「柿生のこんびらさん」として親しまれています。本殿は急な階段があるので参拝が困難な方でもお参りが出来るよう儀式殿をつくったり、階段の横にスロープを設け車椅子やベビーカーでのお参りがしやすくなっています。



バナナ園グループで働きステップ・アップをしませんか？  
**介護スタッフ募集中**

★介護は7イェイア～未経験だからこそその7イェイアが必要です！

■募集要項

★職種：ケア・スタッフ①正社員/②非常勤職員★無資格・未経験からスタート/年齢不問

★給与：① 月給：193,000 円～<夜勤 5 日含む>

② 時給 1020<無資格>～1170 円<介護福祉士>処遇改善加算交付金含  
 ※夜勤 1 回 15,000～16,000 円

★時間：9:00～17:00 17:00～翌 9:00

★待遇：社保・有休・交通費規定内支給：月額 50,000 円迄

★勤務場所：当社各施設 10 箇所の中から通勤しやすい場所を選べます。

●問合せ：(株)アイ・ディ・エス 採用担当まで

**☎044-455-6117**

**2019 年 3 月新卒社員募集中**

**会社説明会随時開催中**

**エントリーはこちらから→**



**バナナ園グループ**

【グループホーム】

- 川崎大師バナナ園 ☎ 044-280-2386
- 第 2 バナナ園 ☎044-587-1773
- バナナ園武蔵小杉 ☎044-863-7101
- バナナ園ほりうち家 ☎044-722-5361
- のんびりーす等々力 ☎044-750-9203
- のんびりーす ☎044-422-2295
- バナナ園生田ヒルス ☎044-911-1599
- バナナ園生田の杜 ☎044-789-5691/5692
- バナナ園生田の泉 ☎044-789-5693
- バナナ園横浜山手 ☎ 045-264-9634



**グループホーム空室情報**

空室情報、入居に関するお問い合わせは右記の各施設もしくは総合案内

**044-455-6119**



月刊 MONTHLY BANANA NEWS (毎月 1 日発行)  
 通算第 171 号 編集：株式会社アイ・ディ・エス  
 川崎市中原区新丸子町 734-2 ☎044-455-6119  
 <HP> <http://www.bananaen.com/>